

## 令和6年度埼玉版FEMAシナリオ作成等業務委託の 公募型プロポーザルに係る参考資料

下記資料は、「令和6年度埼玉版FEMAシナリオ作成等業務委託」の公募型プロポーザルを実施するに当たり、当該業務の理解に資することを目的とし、参考として提示するものである。

参照に当たっては、以下の点に留意すること。

- ・各参考資料は、令和5年度に作成したものを基に、公開用に加工したものであること。
- ・今年度の業務実施において、各資料の記載や様式等に必ずしも縛られるものではないこと。

### <参考資料>

- (1) 埼玉版FEMAの概要
  - (2) シナリオ
    - ア、役割分担表
    - イ、タイムライン
    - ウ、訓練シナリオ（抜粋）
- ※ 対処事項別フローチャートについては参考掲示なし。

### 埼玉版FEMAの概要

- 平時において起こり得る災害をあらかじめ想定し、その規模や種類に応じて対応する官民の組織、団体、企業などを定め、時系列的に実施すべき行動をあらかじめ取り決めておく。  
⇒危機管理の要諦は想像力と平時の「準備」にある
- この取り決めに基づき災害対応のシナリオを作成し、図上訓練を繰り返し、災害対応力を高めていく手法である。  
⇒シナリオ作成や図上訓練を通して関係機関同士の「顔の見える関係」と「連携の強化」を推進する

#### 【FEMA(米国緊急事態管理庁)】

- ・国土安全保障省(DHS)に属する米国の政府機関。緊急対応時にはFEMAに権限を一元化、実動部隊を備える。
- ・埼玉版FEMAでは、県は実動部隊を持たず専門家も限られているため、FEMAが災害に応じて様々な専門知識を有する政府機関や民間を組み合わせ、実効性ある初動体制を迅速に行えるよう調整する機能に着目した。

### 埼玉版FEMAの特徴

- 関係機関同士の「顔の見える関係」と「連携の強化」を推進する手法である。(新組織を立ち上げるものではない)
- 図上訓練は自由に意見を交わす検討会方式で実施する。

### 埼玉版FEMAの実施手順

- ①シナリオ作成  
具体的な被害を前提に、関係機関への確認等の上でシナリオを作成
- ②シナリオに基づく訓練  
シナリオに基づき図上訓練を実施。
- ③課題の抽出  
事後検証を行い、新たな課題等を明らかにする。
- ④シナリオへの反映  
明らかになった課題等をシナリオに反映。更新したシナリオを基に更に検討を深める。



### 図上訓練の実施状況

- 令和2～5年度：風水害、地震災害、大雪災害、火山噴火、国民保護のシナリオを一定程度作成・熟成計22回実施。延べ828機関、1,250人が参加

- 令和5年度の内容：計6回実施

- ①「国民保護(ミサイル)事案への初動対応」、②「風水害時における避難所運営と避難者支援」
- ③「大規模地震時における道路啓開・火災への対応」、④「平野部における大雪被害への対応」
- ⑤「大規模地震時における帰宅困難者への対応」、⑥「火山噴火時における降灰被害への対応」

### 図上訓練の実施方法

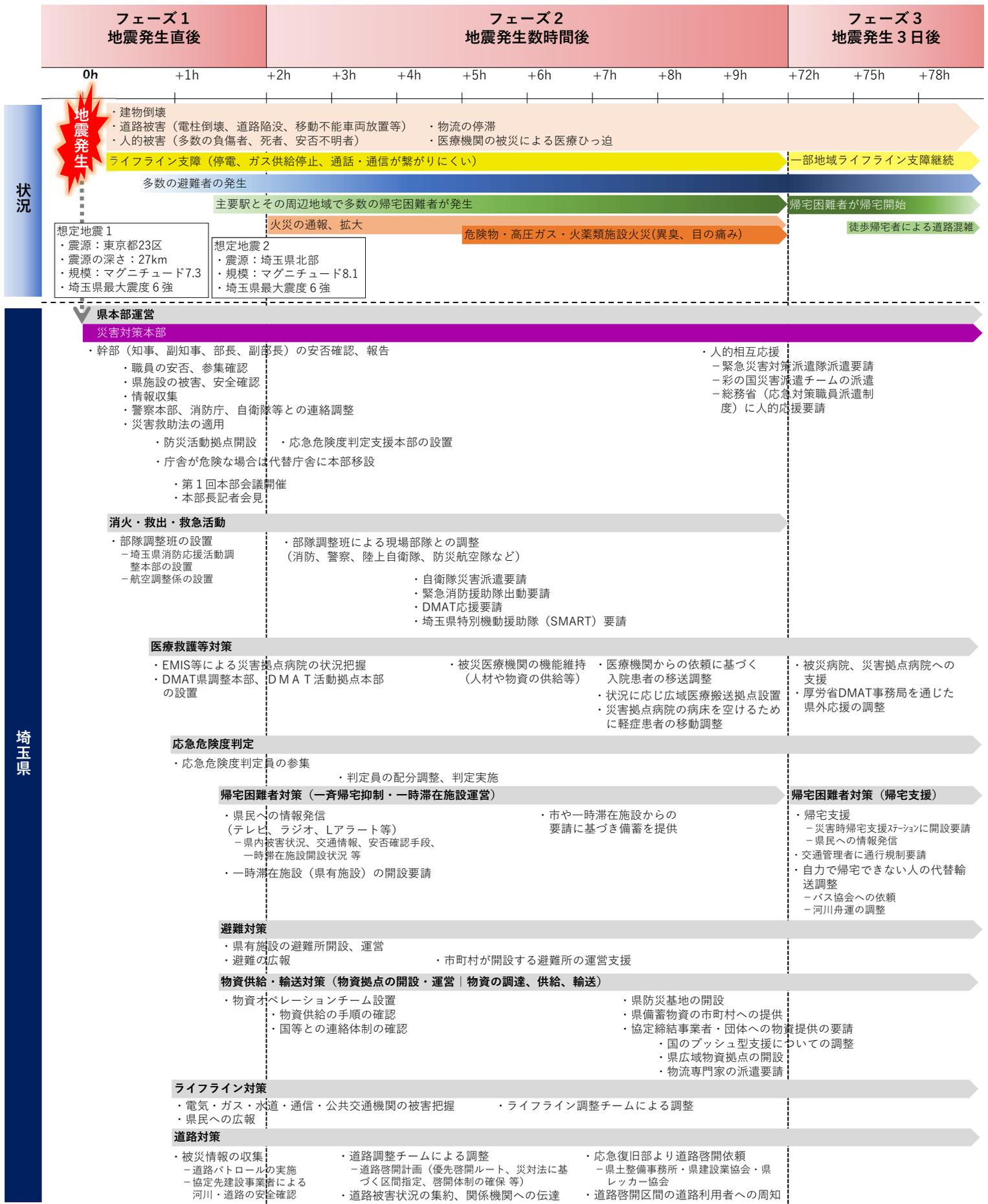
- 検討会方式(学習型訓練)で訓練を実施

- ・「進行役(ファシリテーター)」による質問と、参加者からの回答を繰り返す形式
- ・質疑応答を通じて、各機関の対応を関係者間で確認・共有
- ・ロールプレイング方式ではなく、自由に意見を交わす方式



タイムライン（時系列の行動計画）

～地震時の建物損壊等への対応～



タイムライン（時系列の行動計画）

～地震時の建物損壊等への対応～



令和4年度第3回 埼玉版 F E M A 図上訓練 訓練シナリオ  
～大規模地震時における建物損壊等への対応～

訓練実施日：令和4年10月26日（水）

<目次>

前提 .....	1
討議ポイント .....	1
大規模地震（首都直下）発生 .....	2
【0h】10月3日（月）19時 .....	2
体制確立 .....	2
被害情報収集 .....	4
防災活動拠点開設 .....	4
応援要請 .....	4
【+1h】10月3日（月）20時 .....	5
初動対応（住民への広報） .....	5
【+2h】10月3日（月）21時 .....	8
応急危険度判定 .....	8
道路啓開 .....	8
実動機関の支援 .....	10
人的相互応援 .....	12

## 前提

本シナリオは訓練参加機関に関係する部分を中心に作成

- 大規模地震（首都直下）
  - ・ 東京都23区を震源とする大規模地震
  - ・ 埼玉県内の震度（震度5強以上）：
    - 震度6強** 埼玉県南部
    - 震度6弱** 埼玉県北部
- ※ 埼玉県南部は建物損壊等、甚大な被害が見込まれる。
  
- 訓練局面
  - ・ 地震発生直後

## 討議ポイント

- 1 応急危険度判定
  - 2 道路啓開
  - 3 実動機関の支援
  - 4 人的相互応援
- 
- ※ 網掛け内は各フェーズの主な質疑内容
  - ※ 訓練シナリオ内の箇条書きの先頭記号について
    - ① 「○」「・」「-」の順の3階層で記載している。

## 大規模地震（首都直下）発生

### 【0h】10月3日（月）19時

#### ○ 地震の概要

- ・ 発生日時 : 10月3日（月）19時
- ・ 震源 : 東京都23区
- ・ 震源の深さ : 27km
- ・ 規模 : マグニチュード7.3
- ・ 各地の震度（震度5強以上）:

**震度7** 東京都23区

**震度6強** 埼玉県南部、千葉県北西部、東京都多摩東部、  
神奈川県東部、神奈川県西部

**震度6弱** 茨城県南部、埼玉県北部、千葉県北東部、千葉県南部

**震度5強** 栃木県南部、群馬県南部、東京都多摩西部、山梨県東部・富士五湖、静岡県伊豆、静岡県東部

#### ○ 気象情報

- ・ 10月3日19時現在、埼玉県内は概ね晴れており、これから夜にかけても、引き続き晴れる見込み。
- ・ 今後も10月5日の明け方まで晴れる見込みであるが、その後、前線を伴う低気圧の通過により雨が降る見込み。

## 体制確立

### 【政府】

- 官邸対策室設置、緊急参集チーム参集
- 緊急参集チーム協議開始

### 【県危機管理防災部】

- 県の体制
  - ・ **非常体制**（**災害対策本部**を設置）
    - － 震度6弱以上の地震が発生した場合の非常体制施行は自動（災害対策本部自動設置）

- 体制確立
  - ・ 幹部（知事、副知事、部長、副部長）の安否確認、報告
  - ・ 災害対策本部（各部、支部）の設置
  - ・ 体制決定の関係機関への通知
  - ・ 各部本部連絡員の危機管理防災センターへの参集
- 地震の際の職員の参集体制はどのようなか？

### 【県土整備部】

- 県土整備部の体制
  - ・ 「県土整備部震災対策活動指針」（平成25年3月改定）による。

### 【川口市】【草加市】【八潮市】【三郷市】

- 市の体制
  - ・ **非常体制**（**災害対策本部**を設置）
- 大規模地震の際の職員の参集体制はどのようなか？

### 【草加八潮消防局】

- 大規模地震の際の草加八潮消防局の参集体制はどのようなか？

### 【埼玉県警】

- 大規模地震の際の警察本部の参集体制はどのようなか？

### 【東京電力PG】

- 防災体制
  - ・ **第3非常態勢**
    - （本社：東京電力非常災害対策本部を設置）
    - （埼玉総支社：非常災害対策事業所本部を設置）
    - － 非常態勢の情勢「電力供給区域あるいは事業所のある都・県内で震度6弱以上の地震が発生した場合」に該当
- 大規模地震の際の職員の参集体制はどのようなか？

### 【東京ガスNW】

- 防災体制
  - ・ **第二次非常体制**（**非常事態対策本部**を設置）

－ 適用条件「1. 震度6弱以上の地震が発生した場合」に該当

- 大規模地震の際の職員の参集体制はどのようなか？

## 被害情報収集

### 【県統括部】

- 職員の安否や参集確認、県施設の被害や安全確認
- 災害オペレーション支援システム等による情報収集
- 市町村情報連絡員による情報収集
- 防災航空隊による情報収集（明け方から）
- 警察本部、消防庁、自衛隊等との連絡調整
- 多数の者が生命または身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じていることから、災害救助法を適用

### 【県統括部】

#### 【川口市】【草加市】【八潮市】【三郷市】

- 庁舎の安全確認の体制はどのようなか？
- 代替庁舎の候補は選定しているか？

#### 【東京電力P G】【東京ガスNW】

- 代替事業所の候補は選定しているか？

## 防災活動拠点開設

### 【県統括部】

- 防災基地（①越谷 ②新座 ③秩父 ④中央 ⑤熊谷）
- 大規模施設（①さいたまスーパーアリーナ ②埼玉スタジアム2002公園）
- 県営公園 等
- 県の防災基地や大規模施設とはどのようなものか？

## 応援要請

### 【県統括部】